ブタクサ花粉の飛散状況と生育環境との関連(2023～2025)

衛生環境研究所　髙橋史恵、中田陽子

背 景

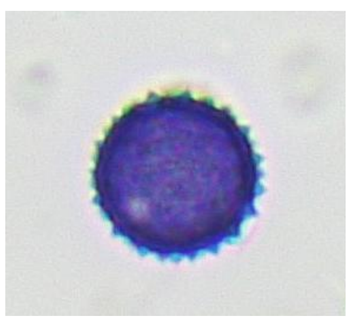
本県の**ブタクサ花粉**に対する**抗体**が**陽性**の割合は、全国で**二番目**に**高い**とされ温暖化によりブタクサ花粉の飛散数が増えるとの研究報告がある。このため、**ブタクサ花粉症患者**の**増加**が**懸念**されている。

目 的

- 本県におけるブタクサ花粉の飛散実態を把握するとともに、生育環境との関連を検討した。

ブタクサ

- キク科一年草(アメリカ原産)
- 秋の花粉症の代表的な原因植物
- 3mまで成長



花粉

ブタクサ生育例

生息場所	河川敷、道端、空き地 etc.
花粉の飛散時期	8-10月
花粉の大きさ	20マイクロメートル

調査方法

- **調査協力者**(当所職員)**の募集**
パンフレット作成･配布
- **花粉の捕集法**
期間　8 -10月
時間　24時間毎
地点　36地点 (国中34･郡内2)
捕集器　2種類
- **アンケート調査**　生育の有無･場所

① スライド設置 (ワセリン塗布)
② 捕集 (24時間)
③ 顕微鏡でカウント

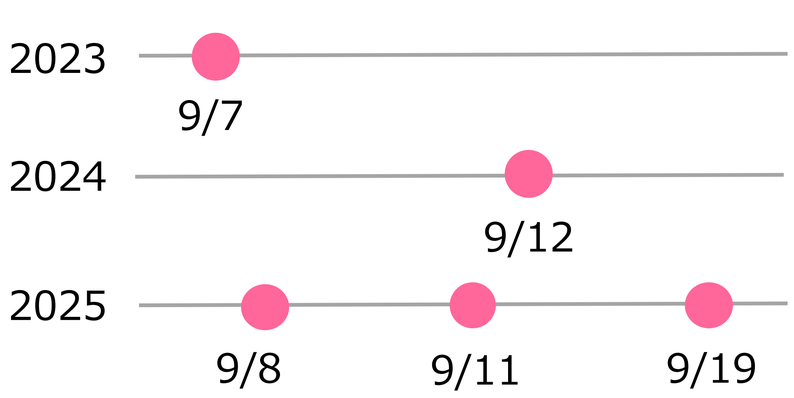
D型

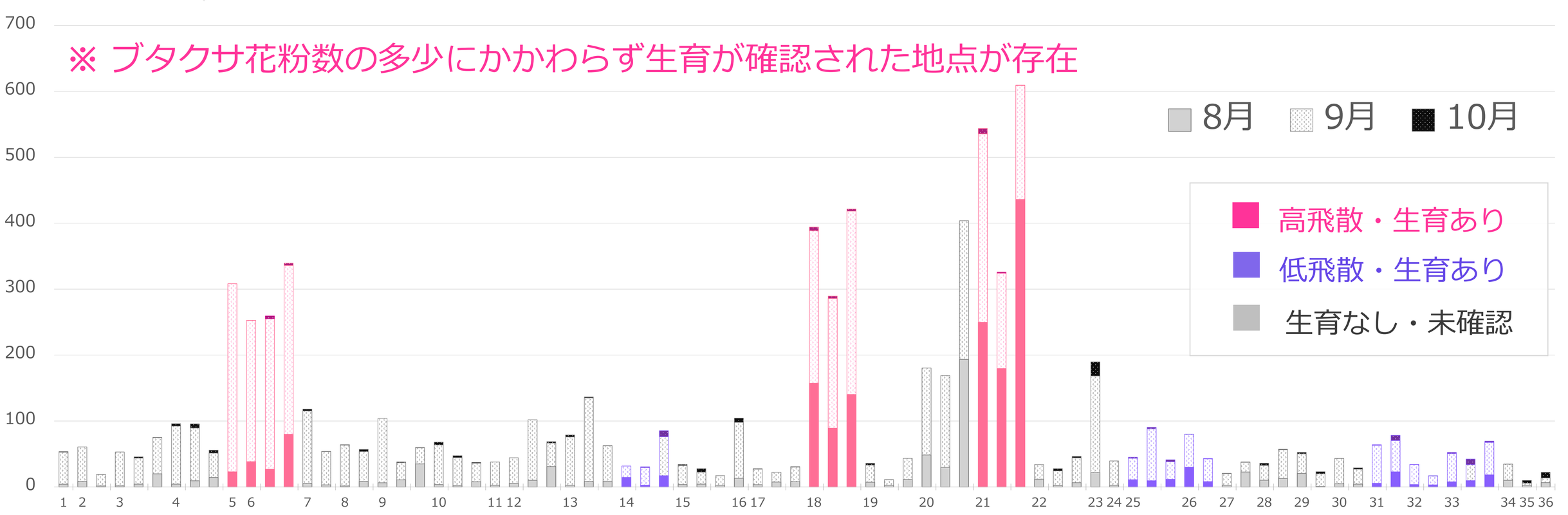
直置き

結果・考察

- **複数地点で最多の花粉が確認された日(●)が一致**した。

➡天候や開花時期など共通の要因が影響した可能性がある





花粉数と生育の関係（地点別）

- **全地点**で花粉が確認され、飛散量や飛散時期は、**年･地点**ごとで**差**が認められた。
- **花粉数が多かった地点**では**周辺でブタクサの生育が確認**され、**生育状況との関連が示唆**された。
- 一方で、**生育が確認されていない地点でも花粉が捕集**された。**➡風で運ばれてきた可能性がある**

研究成果の活用

➡適切な駆除、医療機関での予防投薬（重症化防止）時期等の検討資料